



サポート大使認定 2/2

町は、町の魅力を全国にPRしてもらおうと、町商工会青年部のキャラクター「こんぶマン」をサポート大使に認定しました。

平成18年に制定したサポート大使制度では、これまでにピアニストの吉鷹奈津子さんや、指揮者の武藤英明さんが認定されており、こんぶマンは7番目。ウインターデ・ライトの点灯式で、酒井町長からこんぶマンに認定証が手渡されました。



防犯教室 1/30~2/20

三石地区の4つの保育所（延出保育所・本桐保育所・歌笛保育園・青葉保育園）の職員を対象に『防犯訓練』が行われました。

三石地区にある各駐在所の所長が講師を務め、平成13年6月に発生した「池田小学校事件」を例に、その場の対処方法などを説明。その後、保育所に不審者が侵入してきたことを想定して、さすまたなどの防犯器具を使い、不審者への対応などの実践訓練を行いました。



お父さんとチャレンジ料理教室 1/27

男女共同参画の推進を目的に『お父さんとチャレンジ料理教室』が静内保健福祉センターで開かれ、幼児から小学5年生までの子どもと、父親計18人が参加しました。

参加した親子は、ギョーザとフルーツ白玉作りに挑戦。ギョーザ作りでは、皮となる生地を棒で伸ばし、丸く整える作業に苦労しながらも、親子で協力しながら楽しく作業していました。

ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



白寿祝状授与 2/15

伊藤倭藏さん（東静内）が白寿を迎え、富田副町長から祝い状、町社会福祉協議会・川越会長から記念品が贈られました。

伊藤さんは秋田県出身で、昭和7年に仕事の関係で東静内に移住。昭和16年に結婚し、2男3女に恵まれました。現在も健康で、野菜づくりのほか、毎晩少量の晩酌を楽しんでいます。祝い状を受け取った伊藤さんは「皆さんのおかげです。ありがとうございました」と笑顔で話していました。



ウインターデ・ライト 2/2

アイスクャンドルの柔らかい明かりでまちを彩る『第22回ウインターデ・ライト』（町商工会青年部主催）が栄え通り駐車場などで開かれました。

陸上自衛隊静内駐屯地や町立静内病院ひまわり保育所などのオブジェがメイン会場を彩ったほか、巨大かまくらも登場。来場者は寒空の中、約4千個のアイスクャンドルの幻想的な光とともに、記念撮影やスタンプラリーなどを楽しんでいました。



全国中学校体育大会激励会 1/28

スピードスケートの全国大会に出場を決めた静内中学校の山口亜実さん（2年）と静内第三中学校の瀧上つくしさん（2年）の激励会が、役場静内庁舎で開かれました。

山口さんは初めての全国大会出場で「悔いのない滑りで予選を通過したい」と抱負を述べ、瀧上さんは昨年続く2度目の出場で「昨年不十分だった滑りを直し、結果を残したい」と力強く、酒井町長に健闘を誓いました。



白寿祝状授与 1/21

畠山ヨシエさんが1月20日に99歳の誕生日を迎え、入所先の特別養護老人ホーム静寿園で、酒井町長から祝い状、町社会福祉協議会・川越会長から記念品が贈られました。

畠山さんは札幌市出身。昭和10年に新冠町で結婚し、3男4女に恵まれました。現在は、同園の行事に積極的に参加しながら、毎日楽しく生活しています。この日は、親族ら約10人がお祝いに駆けつけ、施設の方々とともに白寿を喜びました。



スクールバンドフェスティバル 2/9

『第5回新ひだかスクールバンドフェスティバル』が町公民館で開かれ、静内中学校・静内第三中学校・静内高校の吹奏楽部員が、日ごろの練習の成果を披露しました。



ウィンドアンサンブル・ポゴワークショップ 2/9

「ウィンドアンサンブル・ポゴ」の演奏者による『ワークショップ』が三石中学校で開かれ、吹奏楽部員が、正しい楽器の持ち方や音の出し方を学びました。



排雪ボランティア 2/7

地域貢献の一環で三石地区の9社の企業が、排雪ボランティアを行いました。従業員約20名と重機・車両9台が出動し、三石本桐市街地の歩道に溜まった雪を取り除きました。



冬祭り 1/27

歌笛地区育成協議会による『冬祭り』が、旧歌笛小学校グラウンドのスケートリンクで開かれ、子どもから大人まで約50人が参加し、リレーや長靴競争が行われました。